

風水害に対して事前に備えておくべきこと

はじめに

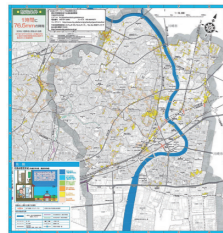
近年台風などによる大雨・暴風による被害が大きくなっており、いつどこで災害が発生してもおかしくありません。「自らの命は自ら守る」意識を持ち、お住まいの地域にどのような被害が生じるか確認するとともに、一人ひとりの状況に合わせた避難時の計画をたてましょう。

平成30年7月豪雨を踏まえた水害・土砂災害からの避難のあり方について(中央防災会議) <国民の皆さんへ>より抜粋

- 行政が一人ひとりの状況に応じた避難情報を出すことは不可能です。自然の脅威が間近に迫っているとき、行政が一人ひとりを助けに行くことはできません。
- 避難するかしないか、最後は「あなた」の判断です。皆さんの命は皆さん自身で守ってください。
- 河川の氾濫や土砂災害が発生してからではもう手遅れです。「今、逃げなければ、自分や大事な人の命が失われる」との意識を忘れないでください。

災害に関心を持ち、大事な命を守るために今できる準備をすすめましょう!

STEP 1 住んでいる地域の危険性を把握しよう!!



洪水・内水・土砂災害の危険性を防災の地図(ハザードマップ)で把握しましょう。

防災の地図について(本市ホームページ)

横浜市 防災の地図 検索

ハザードマップはお住まいの区役所で配布しています。

STEP 2 気象情報・避難情報等を理解しよう!!

警戒レベル1	警戒レベル2	警戒レベル3 避難準備・高齢者等避難開始	警戒レベル4 避難勧告・避難指示(緊急)	警戒レベル5 災害発生情報
心構えを高める	避難行動の確認	避難に時間を要する人は避難	安全な場所へ	命を守る最善の行動
(例)大雨になりそう	(例)大雨注意報 洪水注意報	(例)大雨・洪水警報 氾濫警戒情報	(例)土砂災害警戒情報 氾濫危険情報	(例)大雨特別警報

避難場所 原則、行政による避難情報*の発令に伴い、避難場所を開設します。

*避難準備・高齢者等避難開始、避難勧告 等

発令する時間は、各区で異なる場合があります。市やお住まいの区役所ホームページ、防災情報Eメールにて避難場所を発信しています。

必ずしも地震の際の避難所である地域防災拠点(小・中学校等)が開設されるわけではなく、地区センター、自治会町内会館等が開設される場合があります。

避難を考えている方は必ず市やお住まいの区役所ホームページで開設されている避難場所の情報を確認しましょう。

STEP 3 情報収集手段を把握しよう!!

テレビやラジオでの情報収集に合わせて、次のようなツールも活用し、いち早く情報を入手しましょう。

●横浜市ホームページ

横浜市 防災情報 検索

●メール

横浜市 防災情報Eメール 検索

●アプリ
Yahoo!
防災速報



STEP 4 避難行動を理解しよう!!

(情報収集は早めに!)

河川氾濫の危険、下水道などからの浸水

- テレビ・ラジオ・横浜市HPなどで気象情報に注意しましょう。
- 横浜市HPなどで河川の状況を確認しましょう。
- 外の様子に注意しましょう。
※側溝やマンホールから大量の水が溢れる。

警戒レベル3(避難準備・高齢者等避難開始)、警戒レベル4(避難勧告、避難指示(緊急))などがでたら...

土砂災害の危険

- 小石がパラパラ落下
- 斜面に亀裂が発生など
- 斜面に湧水が発生

崖崩れの
前兆現象

(早めに行動!)

- 近隣の高い建物へ避難
- 自宅等の今いる建物内の2階以上へ避難

- 安全な場所へ避難(指定緊急避難場所等の避難場所、土砂災害警戒区域及び浸水想定区域外の親戚の家など)



避難とは「難」を「避」けることであり、安全を確保することです。避難場所に行くことだけが避難行動ではありません。あらかじめ安全な親戚のお宅などを避難場所としておくなど、必要に応じて各家庭で検討しておきましょう。

STEP 5 非常時の持ち出し品を準備しよう!!

避難場所における物資・食料は、避難者の方々に持参していただくことを原則とします。(避難することを最優先に、可能な限り持参しましょう)

非常時の持ち出し品リスト

- 家族構成を踏まえて、必要なものを選びましょう。



救急・安全

救急セット(包帯・絆創膏) 常備薬

メガネ コンタクトレンズなど

貴重品

預金通帳 現金 カード

免許証 保険証 印鑑など

水・食料

飲料水

非常食

日用品

携帯ラジオ

懐中電灯

タオル、毛布など

体温計

衣類

トイレパック

ヘルメット

厚底の運動靴

軍手

ミルク(液体ミルク等)

※お湯も各自でお持ちください。

ティッシュ

マスク

充電器

紙皿・紙コップ

衣類

レインコート

紙おむつ

ビニール袋

上記を踏まえ、裏面のマイ・タイムラインを作ってみよう!

マイ・タイムライン作成シート

台風や大雨時における一人ひとりの避難行動計画をたてましょう。



台風や大雨などは事前に進路や規模が予測できることから、接近時の計画をたてておくことで適切な避難行動に繋げることができます!!

作成する前に「確認すべき事」

ハザードマップでチェック	家庭の状況のチェック	避難行動の検討
<p>あなたの住んでいる地域は?</p> <input type="checkbox"/> 洪水浸水想定区域 <input type="checkbox"/> 土砂災害警戒区域	<p>避難に支援を必要とする人 (高齢者、障がい者、乳幼児、妊婦など)</p> <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 ペット: <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p style="background-color: yellow; display: inline-block;">警戒区域内である 洪水浸水想定・土砂災害</p> </div> <p>いいえ → 屋内待機</p> <p>はい → ・建物が頑丈 ・マンション居住 → はい → ハザードマップの最大浸水深等を考慮すると、垂直避難で安全が確保できる。 → はい → 垂直避難(建物内の2階以上)</p> <p>いいえ → 水平避難(避難場所等)</p>
<p>住んでいる場所の洪水浸水深は? (想定最大規模) 例: 鶴見川、3~5m [川、 m]</p>		<p>【注意事項】 避難方法検討の目安です。浸水想定区域外でも浸水する場合や、想定される浸水深を上回る場合もあります。土砂災害警戒区域も同様です。屋内待機や垂直避難と判断した場合でも水平避難を想定した準備をしましょう。</p>

[マイ・タイムライン]

警戒レベル	レベル1	レベル2	レベル3 高齢者等は避難	レベル4 全員避難	レベル5 【災害発生】崖崩れ・河川氾濫等
行政からの情報等		● 自主避難など注意の呼びかけ	● 避難準備・高齢者等避難開始	● 避難勧告 ● 避難指示(緊急)※	● 災害発生情報※
警戒レベル相当情報等 <small>※警戒レベルと警戒レベル相当情報が出るタイミングや対象地域は必ずしも一致しません。</small>	● 大雨になりそう	● 大雨注意報、洪水注意報等	● 氾濫警戒情報 大雨警報・洪水警報 等	● 氾濫危険情報 土砂災害警戒情報 等	● 大雨特別警報等
基本的事項 (全ての避難行動に共通する事項)	<input type="checkbox"/> 天気予報を確認 <input type="checkbox"/> 家の点検・補強 <input type="checkbox"/> 非常持ち出し品や備蓄品*の確認 <small>※停電に備えた懐中電灯や水など</small>	<input type="checkbox"/> 備蓄品等が水没しないように安全な場所に置く	<input type="checkbox"/> 避難場所・開設状況の確認 (区HPや防災情報Eメール)	<input type="checkbox"/> 避難開始 避難勧告時には危険な場所から 全員避難	
行動の目安	水平避難が必要な場合	<input type="checkbox"/> 避難に支援を必要とする方 (避難に支援を必要とする方と同居している方を含む)	<input type="checkbox"/> 避難開始 避難に時間を要する方は、 危険な場所から避難	<div style="border: 1px solid blue; border-radius: 50%; padding: 10px; background-color: #e0f0ff;"> <p>[車避難の注意点]</p> <p>令和元年の台風19号では、車で避難中に道路の冠水や崩落で亡くなったケースが多くありました。車を活用した避難や避難に支援を必要とする方の送迎については、早い段階で実施しましょう。</p> <p>※行政が開設する避難場所への車の駐車は原則禁止となります。</p> </div>	<p>⚠ 屋外行動の禁止</p> <p>⚠ 屋内の安全な場所への避難</p> <p>⚠ 命を守る最善の行動をとる</p>
	行政が開設する避難場所	<input type="checkbox"/> 家族やケアマネージャー等支援者を交えて避難手段やタイミング等の確認	<input type="checkbox"/> 避難開始 避難に時間を要する方は、危険な場所から避難		
	浸水想定区域外の家族、親戚、ホテル等	<input type="checkbox"/> 知人、ペットホテル等の一時預け先への確認 <input type="checkbox"/> 避難手段、タイミング等の確認 <input type="checkbox"/> ペット用非常持ち出し袋、ケージの確認(なければ用意)	<input type="checkbox"/> 必要に応じて移動手段を検討 (ペットタクシー、車送迎等) <input type="checkbox"/> ペットをケージに入れて避難の準備		
<p>わたしの計画</p> <p>上記のチェック項目を参考に個人のタイムラインを記載しましょう!!</p> <p>手順1: <input type="checkbox"/> で該当するものを記載 手順2: <input type="checkbox"/> 以外で他に必要なものがあれば記載</p>					